



在宅医療が  
日本を変える  
キュアからケアへのパラダイムチェンジ:  
[ケア志向の医療=在宅医療]という  
新しい医療概念の提唱

発売：ドメス出版  
1200 円＋税

“家で死にたい” のではない  
死ぬまで “家で生きたい” のである  
看取りは、(財源確保の) “目的” ではなく  
死ぬまで家で生きることを支援した  
“結果” である

- 1 はじめに——在宅医療が日本を変える
- 2 村田理論におけるキュア概念とケア概念——“苦しみの構造”
- 3 病院医療（キュア志向の医療）と在宅医療（ケア志向の医療）  
コラム 「生きているとは？」
- 4 医療法人ナカノ会の 13 年の歩み
- 5 在宅医療と情報革命（ICT 革命）
- 6 情報革命（ICT 革命）と政治、社会改革
- 7 在宅医療とラップ療法
- 8 看取りの文化の創造——再びキュアからケアへのパラダイムチェンジ
- 9 終わりに：医療再生のシナリオ——地域包括ケアシステムの構築に向けて

資料 医療法人ナカノ会 10 年を振り返って